



4月25日(木)、登別市ネイチャーセンター『ふおれすと鉾山』のオープン記念式典が行われました。

このふおれすと鉾山は、山や川、森、滝など鉾山地区の豊かな自然を活用し、市民の憩いの場、青少年の自然環境教育の場となる『人と自然のふれあい活動拠点』として平成11年度から整備を進めていたものです。

この日は、市、市議会、自然愛好団体など関係者約100人が参加してオープンを祝った後、ネイチャーホールでフルーツとハーブによる『オープニングコンサート』が催されました。

このふおれすと鉾山では、環境教育をはじめ、自然観察などを通じた研修活動、宿泊体験学習、生涯学習など幅広い利用が見込まれ、今後、『子ども自然教室』や大人向けの『自然観察会』、専門家を招いての自然関係のセミナーなどさまざまな催しが予定されています。

問い合わせ
ふおれすと鉾山 (☎85 2 5 6 9)



『ふおれすと鉾山』オープン

自然とふれあう 拠点施設が完成

新しい名称は『ときめき大学』に

～老人大学入学式～



4月23日(火)、市民会館で平成14年度登別市老人大学入学式が行われました。

老人大学総長の上野市長が「みなさんは人生の先達として、これまで培った経験や蓄積を次の世代へ伝え導き、地域社会に還元され、ふるさと登別の創造のために生かしていただくことを期待します」と式辞を述べた後、93人の新入生を代表して石村洋子さんが「ここで出会う多くの学友のみなさんとの触れ合いや交流を大切に、学生生活を楽しみ、学んだ成果を少しでもまちづくりに役立てるよう努力します」と誓いの言葉を述べました。

また、入学式に先立ち、同大学の『名称考案委員会』から提案された『登別市ときめき大学』が新しい名称として披露されました。

新緑の中でパークゴルフを満喫！

～岡志別の森運動公園パークゴルフ場オープン～

4月20日(土)、岡志別の森運動公園のパークゴルフ場がオープンし、今季の利用が始まりました。

同パークゴルフ場は、例年、5月1日にオープンしていますが、今年の春は温暖な天候が続き、芝の発育が順調なため、10日ほど早めてオープンしたものです。

また、もっと手軽な料金でプレーを楽しみたいという市民のみなさんからの声を受け、市は今年から使用料を値下げしました。

オープンからゴールデンウィーク最終日の5月6日(月)までの利用者数は、延べ2,400人と、昨年の同時期の2倍を超えるにぎわい。利用者は、新緑に輝く芝生の上で、久しぶりにクラブの感触を確かめていました。

